

文京区版幼児教育・保育カリキュラムの拡充について

1 概要

平成29年3月に保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改定、告示されたことを踏まえ、『文京区版幼児教育・保育カリキュラム』（平成28年2月策定）の改定版として、3歳未満児も含めた文京区としての共通カリキュラムを策定したものである。

2 拡充委員会委員

- (1) 学識経験者 師岡章（白梅学園大学教授）、高櫻綾子（日本女子大学講師）
- (2) 区立幼稚園長2名、区立保育園長4名 区立認定こども園長1名
- (3) 事務局 子ども家庭部幼児保育課、教育推進部教育指導課

3 保護者配布用リーフレット

別紙のとおり（3歳未満児、3歳以上児）

4 スケジュール

平成29年 5月12日	第1回拡充委員会
平成29年 7月21日	第2回拡充委員会
平成29年10月27日	第3回拡充委員会
平成30年 2月19日	区立幼稚園・保育園職員合同研修会
平成30年 4月 1日以降	本カリキュラムに基づく教育・保育の実施

文京区版 幼児教育・保育カリキュラム ～ 3歳未満児～



子ども家庭部・教育推進部

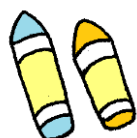
基本方針



平成29年3月に保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改定・告示されたことを踏まえ、平成28年2月策定の3歳以上児を対象とした統一カリキュラム『文京区版幼児教育・保育カリキュラム』に3歳未満児を含めて改定することとする。

内容としては、保育所保育指針を基本とし0歳～2歳児まで（3歳未満児）の発達に合せたものとなっている。

ただし、3歳未満児については一人一人の子どもの発達状態に個人差があるため、生育歴、心身の発達、活動の実態等に即して、本カリキュラムを参考とした個別的な計画の作成が必要である。



基本的な考え方





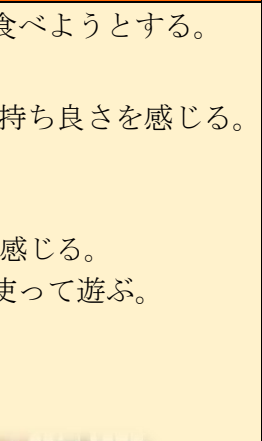

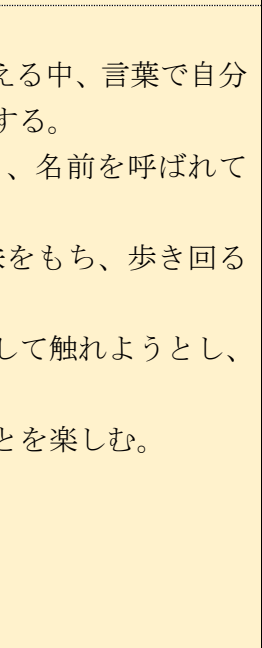
文京区は歴史と文化と緑に生まれ、文学・教育が息づく“文の京”として、歴史を今に未来につなげ、地域が一体となり子どもを育む支援を実施している。一人一人が自分らしく輝くことで“文の京”の魅力をさらに高め、すべての区民が“住んでよかった”“これからも住み続けたい”と実感するまちづくりを目指している。さらに、明治9年に日本で初めて開園し、倉橋惣三により保育が確立された東京女子師範学校（現お茶の水女子大学）附属幼稚園や明治20年に開園した文京区立第一幼稚園、伝統ある大学や学校のある「文教の地」としても知られている。

近年、家庭や地域において、子どもが兄弟姉妹や近隣の子どもと関わる機会や、心と体を動かして夢中で遊びこむ機会が減少しているとの指摘がある。このことを踏まえると、保育園・幼稚園・認定こども園において、同年齢や異年齢の子ども同士が互いに関わり合い、生活することの意義は大きい。子どもは遊びを通して思考力や想像力を養い、遊びこむことによって達成感や満足感を味わい、疑問や葛藤を経験し、自発的に周りの環境に関わる意欲や態度が育っていくのである。

このカリキュラムは、東京都が平成25年に発行した就学前教育カリキュラムを基に、保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏まえ、生きる力の基礎（生活する力・人との関わり・学びの芽生え）の育成に向け、その目標を適切かつ具体的に達成するための事項を経験させたい内容としてまとめた。

なお、リーフレットの内容は、各年齢の年度末のカリキュラムの抜粋である。


0歳児

<p>発達の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一人立ちから歩き始めるようになる。 腕や指先を意図的に動かせるようになる。 探索活動が活発になり、行動範囲が広がる。 保育者や友達の行動に関心を示し、関わろうとする。 言葉と動作や物とが結びつき、簡単な指示が分かるようになる。 	
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> 一人立ちができ、歩行がほぼ完成し、体を十分に動かして遊ぶ。 保育者や友達と一緒にいることを楽しむ。 様々な物に興味をもち、探索活動を活発に行う。 	
<p>経験させたい内容</p>		
<p>生活する力</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保育者に食べさせてもらったり、手づかみやスプーン、フォークを持って食べようとする。 徐々に離乳が完了し、幼児食に移行する。 おむつがぬれていたり汚れたりしている時はこまめに取りかえてもらい、気持ち良さを感じる。 自分の気持ちを受けとめてもらい、保育者のそばで安心して眠ろうとする。 衣服の着脱の時、自ら袖に手を入れようとしたり、足を出したりする。 援助されながら手を洗ったり顔を拭いたりして、きれいになった気持ち良さを感じる。 ほぼ歩行が完成し、はいはいやつかまり立ち、伝い歩き、歩行など全身を使って遊ぶ。 	
<p>人との関わり</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保育者と物のやり取りをすることを喜ぶ。 保育者の仲立ちで、友達と触れ合って遊んだりする。 友達の行動に関心を示し、関わろうとする。 いろいろな経験を重ねる中で、自分の気持ちを表情や態度で表現しようとする。 	
<p>学びの芽生え</p>	<ul style="list-style-type: none"> 物の名前が分かるようになる。 発語が盛んになり、語彙も増える中、言葉で自分の思いを保育者に伝えようとする。 知っている物を指差ししたり、名前を呼ばれて返事をする。 戸外に出ると様々な物に興味をもち、歩き回ることを喜ぶ。 虫や小動物を見つけると手を伸ばして触れようとし、興味を示す。 貼っている紙やシール、テープをはがして遊ぶことを楽しむ。 簡単な型はめやパズルボックスなどを楽しむ。 保育者に絵本を読んでもらうことを喜ぶ。 保育者と一緒に歌を歌ったり、手遊びやまねっこ遊びを楽しむ 	

1 歳児

<p>発達の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行が完成し、言葉を話すようになり、身近な人や物に自分から働きかけていく。 ・歩く、押す、つまむ、めくるなど様々な運動機能が発達する。 ・大人の言うことが分かるようになり、自分の意思を親しい大人に伝えたいという欲求が高まる。 ・指差し、身振り、片言などを盛んに使うようになり、二語文を話し始める。
<p>ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に手伝ってもらいながら、簡単な身の回りのことをしようとする。 ・様々な遊びの中で、保育者や友達との関わりを楽しむ。 ・身の回りの様々なことに興味や関心を示し、探索活動を十分に楽しむ。
<p>生活する力</p>	<p style="text-align: center;">経験させたい内容</p> <div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <div style="width: 70%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・スプーン、フォークを使って、自分で食べようとする。 ・保育者や友達と一緒に同じ場所で、楽しく食べる。 ・排尿したことをしぐさで伝えようとしたり、誘われてトイレに行こうとする。 ・保育者に手伝ってもらいながら、簡単な衣服の着脱を自分でしようとする。 ・保育者に言葉をかけられて、手洗いをしようとする。 ・またぐ、くぐる、低い段から跳び降りるなど、全身を使った遊びを楽しむ。 ・散歩や固定遊具での遊びなど、戸外で体を動かして遊ぶ。 ・つまむ、めくるなど細かい指先を使った遊びを楽しむ。 </div> </div>
<p>人の関わり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・好きな友達ができ、そばに近寄ったり一緒にいたりする。 ・保育者の仲立ちで、友達と同じ遊びをしたり、一緒に遊んだりして関わりを楽しむ。 ・友達や保育者の名前を呼び、親しみをもって関わろうとする。 ・保育者に促されて、生活の中の簡単なルールや、危ないことやしてはいけないことに気付く。 ・自分と友達の持ち物の区別ができるようになり、自分の物の置き場所などが分かる。 <div style="text-align: right;">  </div>
<p>学びの芽生え</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な小動物や、木の葉や木の実など、周囲の自然物やその変化に関心をもつ。 ・大人のすることを真似たり、自分の好きな役になったりすることを楽しむ。 ・生活や遊びの中で、保育者と簡単な言葉のやり取りを楽しむ。 ・絵本や紙芝居を読んでもらい、繰り返しの言葉を真似して楽しむ。 ・保育者や友達と一緒に歌を歌ったり、リズムに合わせて体を動かして遊ぶ。 <div style="text-align: right;">  </div>

2歳児

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">発達の特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動機能や、指先の機能が発達する。 ・食事、衣類の着脱など身の回りのことを自分でしようとする。 ・排泄の自立のための身体的機能が整ってくる。 ・発声が明瞭になり、語彙も著しく増加し、自分の意思や欲求を言葉で表出できるようになる。 ・行動範囲が広がり、探索活動が盛んになる中、自我の育ちの表れとして、強く自己主張する姿が見られる。 ・大人と一緒に簡単なごっこ遊びを楽しむようになる。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者に見守られながら、簡単な身の回りのことを自分でしようとする。 ・保育者や気の合う友達と関わることを喜び、ごっこ遊びを楽しむ。 ・興味のあることや経験したことなどを、保育者と一緒に表現する。
<p>経験させたい内容</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">生活する 生きる 力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な食べ物を進んで食べようとする。 ・スプーンやフォークを持って、食器に手を添えこぼさずに食べようとする。 ・尿意、便意を感じて自分からトイレに行き、排泄後の始末を自分でしようとする。 ・自分で衣服を着脱し、たたむなどの始末をしようとする。 ・手洗いやうがいなど、病気にかからないために必要な活動に気付き、自分からしようとする。 ・散歩に出かけたり、戸外で体を十分に動かし、遊ぶことを楽しむ。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人との 関わり の 基</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・気の合う友達と見立て遊びや簡単なごっこ遊びを楽しむ。 ・保育者や友達と、鬼ごっこや簡単なルールのあるゲームで遊ぶことを楽しむ。 ・友達に話しかけたり、自分の知っていることを言葉で伝えたりして、関わることを喜ぶ。 ・保育者や友達に自分のして欲しいことを言葉で伝える。 ・玩具や遊具など順番に使ったり分け合ったりする。
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">基礎 学びの 芽生え</p>	<div style="display: flex; align-items: flex-start;">  <ul style="list-style-type: none"> ・少しずつ身の回りの色や形の変化、大小、長短、数などに気付く。 ・生活に必要な簡単な言葉が分かり、使おうとする。 ・繰り返しの言葉や、様々なやり取りが出てくるお話の面白さを感じ、喜んで聞く。 ・保育者と一緒に、のり、はさみ、絵の具、粘土などの材料や用具を使い、じっくりと楽しむ。 ・保育者や友達と一緒に歌を歌ったり、リズムに合わせて体を動かして遊ぶ。 </div>



Q & A

「はいはい」はどうして大切なんですか？

「はいはい」は体の隅々を使う全身運動であり、全身の筋肉やバランス感覚が鍛えられます。また、「はいはい」することで赤ちゃんの行動範囲はぐっと広がることになります。「はいはい」によって、触りたい、動きたいという要求を自ら叶えることができ、たくさんの刺激を受けることができるようになります。これは、赤ちゃんの精神的な発達に非常に役立つとされています。たくさん「はいはい」ができるように環境を整えましょう。



Q & A

どういう時にかみつきのひっかきが起こるのですか？

子どもは1歳半を過ぎた頃から明確な自我が出てくると言われています。しかし、言葉では十分に自分の思いを表現することができない時期でもあるため、自分の思いが通らないこともあります。そのような時、自己主張の手段として起こるのがかみつきのひっかきです。お子さんの気持ちを読み取り、代弁することを心がけましょう。



Q & A

探索活動ってどういうことですか？

子どもが安心、安全感を感じた生活の中で知らない物事に興味を示し、それがどのような物かを確認しようとする活動のことです。つかまり立ちや一人歩きを始める時期から 周囲に対して強い好奇心を抱くようになります。一見するといたずらのようにも見えますが、成長に欠かせない大切な活動です。危険がないように安全な環境を整え、好奇心を育てていきましょう。



文京区版 幼児教育・保育カリキュラム ～ 3歳以上児～



子ども家庭部・教育推進部

基本方針



これまでも、保育園は保育所保育指針に、幼稚園は幼稚園教育要領に基づいた幼児教育・保育を展開してきた。また、平成20年3月の大幅な改定により、3歳児から5歳児の教育に関する内容では整合性が図られている。しかし、統一されたカリキュラムがないことで、保育園と幼稚園の内容に違いがあるかのように伝わっていたため、平成28年2月に『文京区版幼児教育・保育カリキュラム』を策定した。

平成29年3月に保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領が改定・告示されたことを踏まえ、文京区立の保育園、幼稚園、認定こども園の3歳児から5歳児までが、等しく質の高い教育・保育が受けられることを目標として策定した統一カリキュラム『文京区版幼児教育・保育カリキュラム』をここに改定することとする。



基本的な考え方



文京区は歴史と文化と緑に生まれ、文学・教育が息づく“文の京”として、歴史を今に未来につなげ、地域が一体となり子どもを育む支援を実施している。一人一人が自分らしく輝くことで“文の京”の魅力をさらに高め、すべての区民が“住んでよかった”“これからも住み続けたい”と実感するまちづくりを目指している。さらに、明治9年に日本で初めて開園し、倉橋惣三により保育が確立された東京女子師範学校（現お茶の水女子大学）附属幼稚園や明治20年に開園した文京区立第一幼稚園、伝統ある大学や学校のある「文教の地」としても知られている。

近年、家庭や地域において、子どもが兄弟姉妹や近隣の子どもと関わる機会や、心と体を動かして夢中で遊びこむ機会が減少しているとの指摘がある。このことを踏まえると、保育園・幼稚園・認定こども園において、同年齢や異年齢の子ども同士が互いに関わり合い、生活することの意義は大きい。子どもは遊びを通して思考力や想像力を養い、遊びこむことによって達成感や満足感を味わい、疑問や葛藤を経験し、自発的に周りの環境に関わる意欲や態度が育っていくのである。

このカリキュラムは、東京都が平成25年に発行した就学前教育カリキュラムを基に、保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏まえ、生きる力の基礎（生活する力・人との関わり・学びの芽生え）の育成に向け、その目標を適切かつ具体的に達成するための事項を経験させたい内容としてまとめた。

なお、リーフレットの内容は、各年齢の年度末のカリキュラムの抜粋である。

3歳児

発達の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活（食事、排泄、衣服の着脱など）がほぼ自分でできるようになる。 ・ 自分を中心に考える時期でもある。 ・ 話し言葉が豊かになり、会話を楽しむようになる。 ・ 自分の思いを主張しながらも、友達と同じ場所で遊んだり、簡単な集団での遊びを楽しんだりするようになる。 ・ 基本的な運動機能が発達する。 	
	ねらい <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで気持ち良く過ごすために園生活に必要なことが分かり、自分から行おうとする。 ・ 自分の思いを出して、好きな遊びを十分に楽しむ。 ・ 保育者やクラスの友達と一緒に動く楽しさを感じ、リズム遊びや表現遊びを楽しむ。 	
生活する力	経験させたい内容	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 冬の生活の仕方を知り、自分からやってみようとする。 ・ 身の回りの物の整理や遊びの片付けなど、自分のことを自分でしようとする。 ・ 進級を楽しみにし、自分でできることを増やしていく。 ・ 楽しく食事をする。 ・ 一定時間の睡眠を取る。 ・ 寒さに負けず、戸外で体を動かして元気に遊ぶ。 ・ 簡単な集団遊びのルールが分かり、みんなと一緒に体を動かすことを楽しむ。 ・ 遊具や用具を安全に使う。 	 <p style="text-align: right;">*幼稚園では、基本的に睡眠を取っていません。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相手の動きや保育者の話などから、相手にも思いがあることに気付く。 ・ 保育者や友達のしている遊びに興味をもち、関わって遊ぶ。 ・ 友達と声や動きを合わせてみる。 ・ 年中児・年長児の姿にあこがれの気持ちをもち、真似ようとしていたり、一緒に遊ぼうとする。 ・ 友達と同じ場で遊ぶ中で、思っていることやしたいことなどを言葉や動きで表す。 	
基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びを通して興味・関心を広げ、楽しかったことを取り入れて遊ぶ。 ・ 冬から春の自然に触れ、冷たさや寒さ、暖かさ、春の訪れを体で感じる。 ・ 思ったことを友達に言ったり、相手から聞かれたことに応じて答えたりする。 ・ 保育者や友達と簡単なクイズや反対言葉などを楽しみ、言葉を使う楽しさを味わう。 ・ 絵本やお話のイメージをもち、なりたい物になって自分なりの表現を楽しむ。 ・ みんなと一緒に歌ったり、楽器を鳴らしたりすることを楽しむ。 ・ リズム遊びや表現遊びに喜んで参加し、自分なりに表現しようとする。 ・ 自然物も含め様々な素材に触れ、試したり見立てたりして楽しむ。 	

4歳児

発達の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 周囲の環境に強い関心を持ち、身近な自然物、物事、事象と触れ合う中で、友達と発見、工夫し遊びを広げる。 ・ 友達と関わり、遊ぶことの楽しさが分かり、相手の思いや自分の感情に気付いていく。 ・ 言葉による表現が進み、友達に自分のイメージを伝え、一緒に遊びを楽しんでいく。 ・ 決まりや危険なことが分かり、約束を守って行動していく。 ・ 運動のバランス、コントロールが取れるようになり、ボール投げなど2つの動きをつなげて行う協応動作も上手に行えるようになる。 			
	ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的な生活習慣を身に付け、生活や遊びの決まりを守り、進級することへの期待や自信をもつ。 ・ クラスの友達と一緒にいろいろな活動をする中で、つながりを感じて遊んだり、行動する。 ・ 自分たちで遊びに必要な場や物を作って遊ぶことを楽しむ。 		
経験させたい内容				
生活する力	生きる力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活の大まかな見通しが分かり、自分でできることは自分でしようとする。 ・ 自分の健康に関心を持ち、手洗い、うがいを進んで行く。 ・ 必要に応じて自分で衣服の調整をする。 ・ 自分の健康に関心を持ち、いろいろな食材を食べようとする。 ・ 食事のマナーに関心を持ち、気を付けて食事をする。 ・ 落ち着いた環境の中で、一定時間、休息を取る。 ・ 行事を通して伝統的な日本の食文化を経験する。 ・ 寒さに負けず、戸外で全身を動かして友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 ・ 自分なりのめあてをもって運動遊び（フープ、縄跳び、固定遊具など）に取り組み、積極的に体を動かして遊ぶ。 ・ 卒園式・修了式に参加をして年長児の修了を祝い、進級への期待感を高め、自信をもって行動する。 		
		力の基礎	人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の中で自分の思ったことや考えたことを表現し、受け止めてもらえるうれしさを感じる。 ・ 一緒に遊ぶ友達と場や必要な物を作り、自分たちで簡単な遊びの流れを作りながら遊ぶ。 ・ クラスのみんなで活動することを楽しみ、つながりを感じたり、満足感を味わったりする。 ・ 年長児との交流や当番の引き継ぎなどを通して、年長になることへの期待をもつ。 ・ 友達の刺激を受けながら、自分なりの遊び方を工夫し、繰り返し楽しむ。 ・ 生活の中でして良いこと、悪いことを自分なりに考え、簡単なルールを守ろうとする。
力の基礎	学びの芽生え			<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びに必要な物や場を作り、友達と一緒に遊ぶ。 ・ 雪や氷、霜柱など冬の自然に触れ、自然の不思議さや面白さを感じる。 ・ 身近な自然に触れ、春の訪れを感じる。 ・ いろいろな遊びの中で記号や文字、形、数字などに興味をもつ。 ・ 場面に合わせていろいろな言葉を使う。 ・ 友達と言葉で伝え合う楽しさを感じる。 ・ 絵本や紙芝居、お話などを喜んで聞き、ストーリーの展開を楽しみにする。 ・ 年長組に言葉や歌、製作などを通して、感謝の気持ちを伝えようとする。 ・ 劇遊びなどに必要な物を保育者や友達と一緒に作り、作った物を使って表現して遊ぶ。 ・ 様々な素材に親しみ、自分で材料を選び、工夫して作ろうとする。 ・ いろいろな遊具を使い、イメージに合った場を自分たちで作ろうとする。

5 歳児

発達の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりに判断する力が生まれ、自分と違う思いや考えを認め、社会生活に必要な力を身に付け、行動できるようになる。 ・生活や遊びに見通しを持ち、友達と相談し、共通の目的や課題に向かって取り組むようになる。 ・時間を意識した生活に見通しを持ち、就学に向けて期待を高めていくようになる。 ・全身運動が滑らかで巧みになる。 ・運動機能はますます伸び、細かい指先の動きが滑らかになり、用具の扱いや操作ができるようになる。 		ねらい
	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で充実感をもって行動する。 ・友達と共に過ごす喜びを味わい、自分たちで自信をもって園生活を進めていく。 ・繰り返し挑戦して取り組む中で、目的や課題を達成し、意欲をもつ。 		
経験させたい内容			
生活する力 生き る 力 の 基 礎	生活する力	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の生活や就学までの見通しが分かり、自信をもって取り組むことができるようにする。 ・時間を意識しながら生活に見通しをもち、今、何をすべきか、自分なりに判断し、状況に応じた行動をしようとする。 ・身の回りの整理や片付けの必要性が分かり、協力して進んで行く。 ・自分の決めた目標に向かって繰り返し挑戦する。 ・就学を意識して朝、帰りの集まり時に集中して話を聞くようにする。 ・卒園・修了に向けた活動の中で、園生活が終わることを感じたり、小学校生活への意識を高めたり、期待をもったりする。 ・安全な遊び方や場所が分かり、自分で判断して安全に行動しようとする。 ・見通しをもって園生活を進める。 	
	人との関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の感じたことや考えたことを友達に分かるように伝え、友達の話も聞いて受け止めていく。 ・友達の心情に気付き、お互いを生かし合って遊ぼうとする。 ・クラスとしてのつながり、充実感、達成感を味わう。 ・繰り返し挑戦し、達成したり、様々な人に認められたりすることを通じて自信をもつ。 ・園生活を振り返り、自分に多くの人が関わってくれたことを知り、感謝の気持ちをもつ。 ・年下の子どもへの関わり方を自分なりに考えたり、自分の知っている事を教えたりする。 	
	学びの芽生え	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスや個々の課題に向かって自分の力を発揮し、これまでの経験を生かして取り組む。 ・友達と協力し、役割を分担して取り組み、互いの良さや成長を認め合う。 ・自分たちで見通しをもって遊びや生活を進め、やり遂げる満足感を味わう。 ・冬から春の自然の変化に気付き、不思議さや面白さを感じたり、興味をもって調べたり、予想したり、試したりする。 ・日常生活に必要な数量、形、文字、標識などに興味・関心をもち、遊びや生活の中で使っていく。 ・遊びや生活の中で、相手に分かるように、話し方や言葉を考え、伝えようとする。 ・困ったことがあれば自分で尋ねたり、集中して人の話を聞こうとしたりする。 ・素話や継続性のある物語を楽しみにし、喜んで聞く。 ・言葉の響きやリズム、新しい言葉や表現などに触れ友達と一緒にこれらを使う楽しさを味わう。 ・クラスや学年の友達全員で気持ちを合わせて歌ったり演奏したりする。 ・様々な素材に親しみ、用具を使って、自分のイメージを工夫して表現する。 ・日本の良さを感じるとともに、他国への親しみももつ。 	

Q & A

区立の幼稚園や保育園では幼児にどんな力を育てていますか？

幼児期の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要な物です。そこで下記のような力を育てていきます。

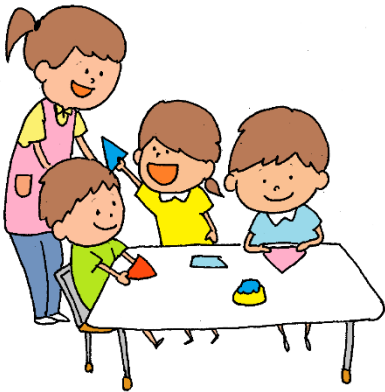
- ・健康な心と体を育てます。
- ・人とかかわる力や思いやる心を育てます。
- ・興味をもって取り組む力、頑張る力を育てます。
- ・聞く力、話す力を育てます。
- ・伸び伸びと表現する力を育てます。



Q & A

なぜ遊びを大切にしているのですか？

遊びは、幼児が自らの興味や関心をもって取り組む自発的・主体的な活動です。その中で好奇心・探究心が育まれ、友達と協力する大切さなどを学び、集中して取り組む力が育ちます。幼児期に夢中になって遊んだ体験が小学校以降の「学習の基盤」となります。



Q & A

小学校就学に向け、どのような教育をしていますか？

幼児期に大切な学びのスタイルは特定の活動を取り出して教えることより、興味・関心に沿って幼児自身が学びとることが重要と考えます。様々な活動の中には小学校の学習につながる内容は十分含まれています。「知りたい」気持ちを育み、小学校への憧れをもつよう連携を進めています。

